

## 日本橋地域における小学校でのまちづくり活動の報告

### 第3期日本橋学生工房「常盤小学校ワークショップ2004-05」 結果報告

東京大学大学院 学生会員 ○柏井 一成  
 常盤小学校 校長 梶井 貢  
 政策研究大学院大学 フェロー会員 森地 茂

#### 1. はじめに

江戸時代から政治・経済・文化の中心地として発展してきた日本橋地域では社会的背景の変化により、かつての賑わいを失いつつあるものの、都心回帰現象や再開発事業により再活性化への機運が徐々に高まりつつある。

そうしたなか、学生の視点から日本橋まちづくりについて考え、地元の機運をさらに高めることを目的に発足した日本橋学生工房では、活動のひとつとして日本橋室町・本町を学区域に持つ常盤小学校を舞台に「常盤小学校ワークショップ2004-05」を行った。以下、結果について報告する。

#### 2. 常盤小学校での取り組み

中央区立常盤小学校は学区域人口の減少ゆえに児童数が減少し、さらに学区域外からの通学者が多数を占めるため、必然的に児童と日本橋との関係が希薄になり、児童の日本橋への関心の低下につながっている。そこで平成16年度より「ともに響き合い、地域に親しむ子どもの育成」というテーマを掲げ、地域の教材を学び、地域に愛着を持てる子どもを育てることを目的とし、地域の学習素材／人材を活用した授業づくりを推進している。

#### 3. 常盤小学校ワークショップ2004-05の目的

常盤小学校の現状を背景に、日本橋学生工房では常盤小学校の児童が日本橋に関心を持ち愛着心を高めること、また小学校を通じて保護者・教職員・地域の方々が日本橋まちづくりへの関心を向上させることの2点を目的とし、常盤小学校ワークショップ2004-05を実施した。

#### 4. 常盤小学校ワークショップ2004-05の概要

常盤小学校ワークショップ2004-05は、2つのプログラム(まちづくり授業+発表会)から構成されている。

##### 4-1. 5年生総合的な学習「日本橋の未来を考える」

5年1組25名と日本橋学生工房と一緒に半年間、総合的な学習の時間に日本橋の未来について考えた。

5つのステップ(図1)により授業を行った。現状の日本橋の持ついいところ/だめなところを探し、その原因や理由を見つけ、日本橋に対する提案を模型によって表現した(図2)。日本橋に住宅をつくり、さらに生活支援施設をつくるなど現状と将来を十分に考慮した現実的な提案がなされた。

	授業目的	授業実施期間	授業時間	授業内容
ステップ1	日本橋を知る	04/09/08-04/09/15	4時間	日本橋まちづくりの授業 調べ学習
ステップ2	日本橋を見る	04/09/22	4時間	まちあるき
ステップ3	日本橋を考える	04/09/29-04/11/06	15時間	いい/だめカードづくり 日本橋への提案づくり
ステップ4	日本橋をつくる	04/11/11-04/12/08 05/02/02-05/03/02	16時間 10時間	未来の日本橋模型づくり
ステップ5	日本橋に発表する	04/12/10 05/03/07		学内発表会の開催 学外発表会の開催



図1. 総合的な学習「日本橋の未来を考える」の5つのステップとその概要

図2. 授業風景

キーワード 日本橋, まちづくり, 小学校, 総合的な学習, 日本橋学生工房

連絡先 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-5-15 昇賢ビル5F 日本橋学生工房 TEL 03-6202-7002

#### 4-2. 常盤小学校 生活科・総合的な学習発表会「常盤っ子から日本橋っ子へ」

授業内に行った社会科見学授業（04/10/27 実施）や保護者参観日（04/11/07 実施）での中間発表を踏まえ、最終発表会「常盤っ子から日本橋っ子へ」を開催した。5年生は総合的な学習での成果の発表を、5年生以外の学年は生活科・総合的な学習の発表を行った（図3、4）。日本橋学生工房では全学年の展示パネル作成・発表準備・広報をサポートし、発表会当日には保護者・地域の方々計126名にご参加いただいた。

	発表タイトル	授業内容
1年生	むかしのあそび	常盤小学校の卒業生から学んだ昔の遊びを紹介する
2年生	日本橋だいすき	日本橋探検の成果を壁新聞や紙芝居により表現する
3年生	日本橋探検隊	地図や模型により昔の日本橋を再現する
4年生	江戸の知恵—名人から学ぶ—	日本橋の名人から習った職人技を紹介する
5年生	日本橋の未来を考える	日本橋の未来を提案し、模型で表現する
6年生	日本橋ガイド	日本橋のガイドマップをつくり実際にガイドをする



図3. 最終発表会「常盤っ子から日本橋っ子へ」の各学年発表概要

図4. 発表風景

#### 5. 常盤小学校ワークショップ2004-05を終えて

常盤小学校ワークショップ2004-05実施後、5年生児童・保護者・教職員・地域の方々にアンケートを行った結果、各々に日本橋への愛着心／日本橋まちづくりへの関心の向上が見られた。

児童はまちづくりの授業を経験することにより日本橋への愛着が生まれ、保護者は児童の体験を通じて日本橋へ関心を持ち、教職員は日本橋学生工房の存在が刺激となり学習教材としての日本橋の可能性に触れ、地域の方々は児童の授業成果によりまちづくりへの関心を向上させた（図5）。

児童へのアンケート		保護者へのアンケート		教職員へのアンケート		地域の方々へのアンケート	
授業を終えて、今までよりも日本橋が好きになりましたか？		お子様が日本橋を学ぶことで、日本橋まちづくりに興味を持ちましたか？		授業を終えて、日本橋まちづくりに関心を持ちましたか？ また今回の経験をどのように今後に活かしていきたいですか？		小学生の発表により、日本橋のまち・まちづくりへの関心は高まりましたか？	
すごく好きになった	2	変わった	14	子どもの発想にびっくり		高まった	42
好きになった	11	まあまあ変わった	11	日本橋の良い所を見つけ、生徒に伝える		少し高まった	21
やや好きになった	10	どちらともいえない	0	まちづくりの視点を高めていきたい		ほとんど変わらない	0
好きにならない	1	あまり変わらない	0	来年度へと授業内容を伝える		変わらない	1
無回答	1	変わらない	0	1～6年生までの活動内容の関連性を図る		無回答	1

図5. 児童・保護者・教職員・地域の方々へのアンケート結果

#### 6. 今後に向けて

常盤小学校ワークショップ2004-05では、常盤小学校という基盤に支えられ、まちづくりに携わる日本橋学生工房が長期的に関わったことが成功の要因であった。今後、学区域について学び、積極的に働きかける小学校とその地域に根ざしたまちづくり団体が時間を費やし、ゆっくりかつ確実な協調を形成していくことを望みたい。

#### 謝辞

本研究実施にあたり、たくさんの方々にお世話になりました。常盤小学校教職員の皆様、PTA みどり会・保護者の皆様、地域の方々、そして日本橋学生工房のアドヴァイザーの先生方、諸先輩方ありがとうございました。ここに記して感謝の意を表します。

#### 参考文献

- 1) 中央区立常盤小学校 平成16年度 研究既要 2004年
- 2) 日本橋学生工房ホームページ <http://www.n-kohboh.jp>
- 3) 日本橋学生工房 第3期日本橋学生工房「常盤小学校ワークショップ2004-05」報告書 2005年4月